



2024年12月13日

日本鉄道労働組合連合会

J R 貨 物 連 合 第 1 5 回 定 期 大 会

組 織 課 題 を 組 合 員 一 人 一 人 が 共 有 し、一 人 で も 多 く の
組 織 拡 大 が 出 来 る よ う、取 り 組 み 強 化 を 推 し 進 め て い こ う !

J R 貨 物 グ ル ー プ 労 働 組 合 連 合 会 (J R 貨 物 連 合) は 11 月 13 日、静 岡 県 浜 松 市 内 で 第 15 回 定 期 大 会 を 開 催 し、向 こ う 1 年 間 の 活 動 方 針 を 決 定 す る と と も に、新 年 度 の 役 員 体 制 を 確 立 し た。

大 会 の 冒 頭 で あ い さ つ に 立 っ た 辻 村 和 裕 会 長 (J R 連 合 副 会 長 ・ 貨 物 鉄 産 労 中 央 執 行 委 員 長) は、自 然 災 害 や 安 全 問 題 に 触 れ、「 J R 貨 物 の 使 命 は 安 全 ・ 安 定 輸 送 だ が、定 時 運 行 を 意 識 し 過 ぎ て 事 故 を 発 生 さ せ る と 意 味 が ない」と 訴 え、周 囲 の 模 範 と な る 行 動 を 心 掛 け、安 全 確 立 の 運 動 を 組 織 強 化 に も つ な げ よ う と 呼 び か け た。ま た、政 策、会 社 経 営、組 織 強 化 ・ 拡 大、人 口 減 少 社 会 に 対 す る 所 見 を 述 べ、
「 J R 貨 物 連 合 運 動 の 先 頭 に 立 っ て 組 織 を 盛 り 上 げ て い く」と の 決 意 を 明 ら か に し た。



J R 貨 物 連 合 辻 村 和 裕 会 長



J R 連 合 荻 山 会 長

J R 連 合 か ら は、荻 山 市 朗 会 長 と 住 吉 一 家 労 働 政 策 局 長 (グ ル ー プ 労 組 担 当) が 出 席 し、代 表 し て あ い さ つ し た 荻 山 会 長 は、安 全、政 策、政 治、労 働 条 件、組 織 強 化 な ど に つ い て、直 近 の J R 連 合 の 取 り 組 み を 報 告 す る と と も に、特 に 貨 物 モ ー ダ ル シ フ ト の 推 進 に つ い て は、J R 各 社 間 の 連 携 が 必 要 で あ り、J R 連 合 と し て も 積 極 的 に 関 わ っ て い く 考 え を 示 し た。

議 事 で は、鈴 木 教 仁 事 務 局 長 が 提 起 し た 活 動 方 針 (案) な ど に 対 し て、3 名 の 代 議 員 が 発 言。安 全 の 確 立、労 働 条 件 の 向 上、人 手 不 足 へ の 対 応 な ど の 課 題 に 対 し て、執 行 部 か ら の 答 弁 を 受 け た 後、全 て の 議 案 が 満 場 一 致 で 決 定 し た。ま た、役 員 の 選 出 で は 再 任 し た 辻 村 会 長 を は じ め と す る 6 名 の 体 制 が 確 認 さ れ た。

大 会 終 了 後 は、参 加 者 全 員 で「第 11 回 安 全 デ ィ ス カ ッ シ ョ ン」を 開 催 し、安 全 に 関 す る 職 場 の 課 題 や 解 決 策 等 を 議 論 し た。輪 軸 組 立 作 業 で の 不 正 問 題、1 年 間 で 7 件 発 生 し た コ ン テ ナ 落 下 事 故、積 荷 の 偏 積 対 策 な ど、様 々 な 事 象 に 対 し て 問 題 意 識 の 共 有 や 改 善 策 の 検 討 な ど、建 設 的 な 議 論 が 展 開 さ れ た。特 に、コ ン テ ナ 落 下 事 故 の 撲 滅 に む け て は、狭 く て 危 険 な 作 業 環 境 の 改 善 や 長 期 留 置 コ ン テ ナ の 運 用 改 善 な ど が 訴 え ら れ、参 加 者 は 各 社 の 労 使 協 議 を 通 じ て 改 善 に 取 り 組 む こ と を 確 認 し た。

